

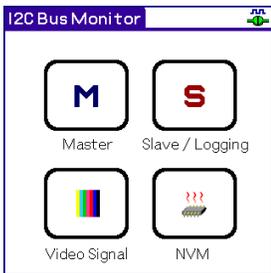
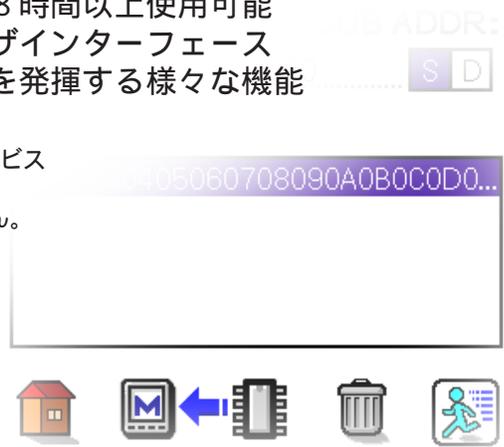
I2C BUS MONITOR

Twincommunicator 101/102

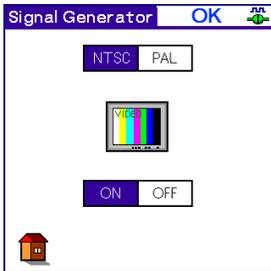
PDAを使ったコンパクトな I2C BUS コントロールシステム
 単三電池 4 本で連続 8 時間以上使用可能
 グラフィカルなユーザインターフェース
 データの解析に威力を発揮する様々な機能



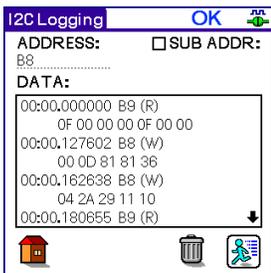
設計、試作、量産、サービス
 コンパクトで高機能、
 使用場所を選びません。



使い方は簡単
 マニュアルで使い方を調べる必要はありません。グラフィカルなユーザインターフェースにより簡単に高度な機能を使いこなすことができます。基本的な操作は画面の指示にしたがって表示されるボタンにタッチするだけです。



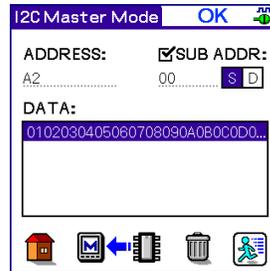
使う場所を選びません
 バッテリー駆動が可能なコンパクトな筐体は使う場所を選びません。単三アルカリ電池 4 本を内蔵し、乾電池駆動で 8 時間以上の連続使用が可能です。(ビデオ信号を連続出力した場合)



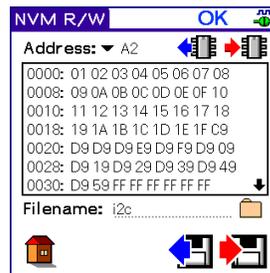
簡易ビデオ S G 機能
 ビデオのテストパターンを出力することも可能です。NTSC/PAL方式のビデオ信号に対応しています。ビデオ S G 機能と I2C BUS monitor 機能は独立して動作しますので、ビデオパターンを出力しながら I2C BUS のコントロールが可能です。



機能例
 1. マスターモード
 検討対象のデバイスを I2C BUS でコントロールできます。



2. データロギング (スレープモード)
 スレープアドレスとサブアドレスを設定し、その条件に合致した場合のデータを記録、解析できます。



3. NVM ダンプ
 検討対象のセットのデータを保持するための NVM (ノンボラメモリ) のデータを一括で読み込み、そのデータを一覧形式でダンプすることができます。

4. データの保存・解析
 NVM のデータ等をメモリースティック等の PDA の外部ストレージにテキスト形式で書き出すことができます。これによりデータの解析等を効率よく行うことができます。

画面デザインは開発中のものであり、予告無く変更することがあります。
 I2C BUS は、Philips社の商標です。